

「身近な現象と数学～コロナ禍から渋滞など～」

Keyword 数理モデル、感染症、渋滞、暗号



講師

大平 徹 先生

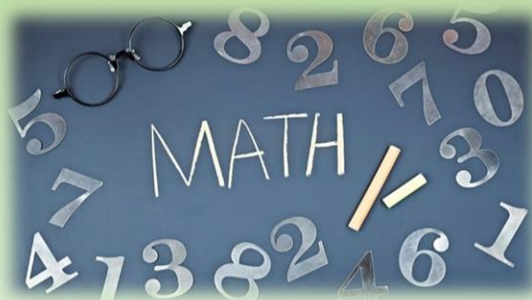
名古屋大学

大学院多元数理科学研究科
教授

この講義では、実は数学が学問の世界を超えて、我々の身の回りで起きていることを分析するのに縁の下の力持ちとして役に立っている事例をご紹介します。

特に題名にあげたようにコロナの感染者数や高速道路での渋滞などを数式でどのように考えるのか、お話しをしたいと思います。

高校では数学は与えられた問題を解くということが中心で、理系の一部になっていますが、実は自然や社会の様々な現象を記述する「言語」の役割も重要です。今回は、具体的な事例を通して、このような数学の側面をお伝えしたいと思います。



12月21日(木) 14:00～15:30 (交流会～16:45)

会場:愛知県立半田高等学校 七中記念館
(名鉄住吉町駅より徒歩8分)

受付 13:30～
講演 14:00～15:30
交流会 15:45～16:45

参加希望者はQRコードまたは下記のメールアドレスへ
所属・氏名等を記入の上お申し込みください。
メールアドレス(handassh@handa-h.aichi-c.ed.jp)

入場無料

